

隣の極点図が畳み込まれた極点図から隣の極点図を削除する

P o l e F i g u r e D i f f e r e n c e ソフトウェア

Ver1.00

2017年07月11日

HelperTex Office

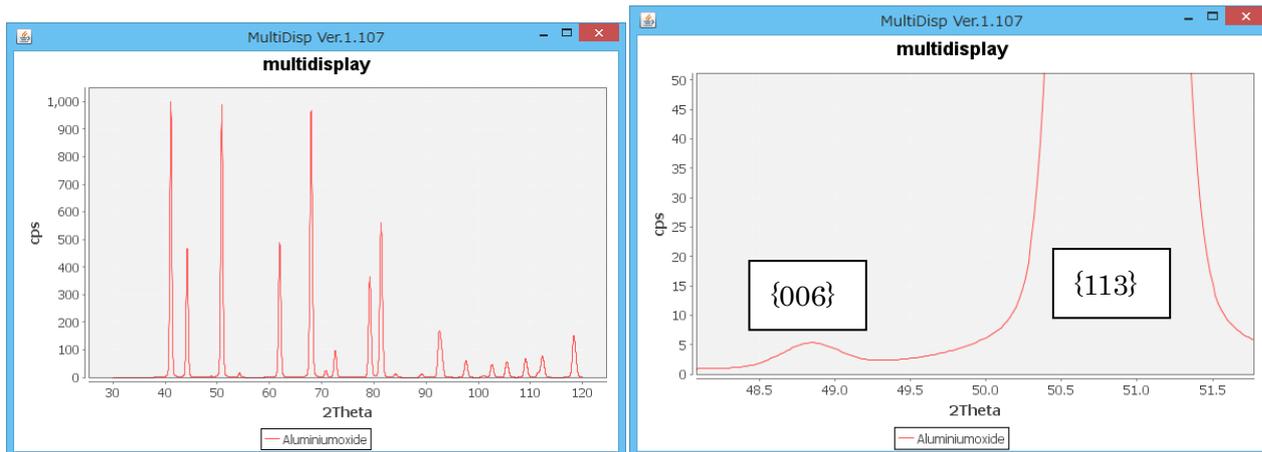
概要

高分子材料など Cubic 以外では、回折角度が近接する為、極点図の畳み込みが派生する。畳み込みを避けるため、受光側で角度分解能を上げると、defocusなどの補正量が大きくなり、測定と補正で発生する Error (Rp%) が大きくなります。

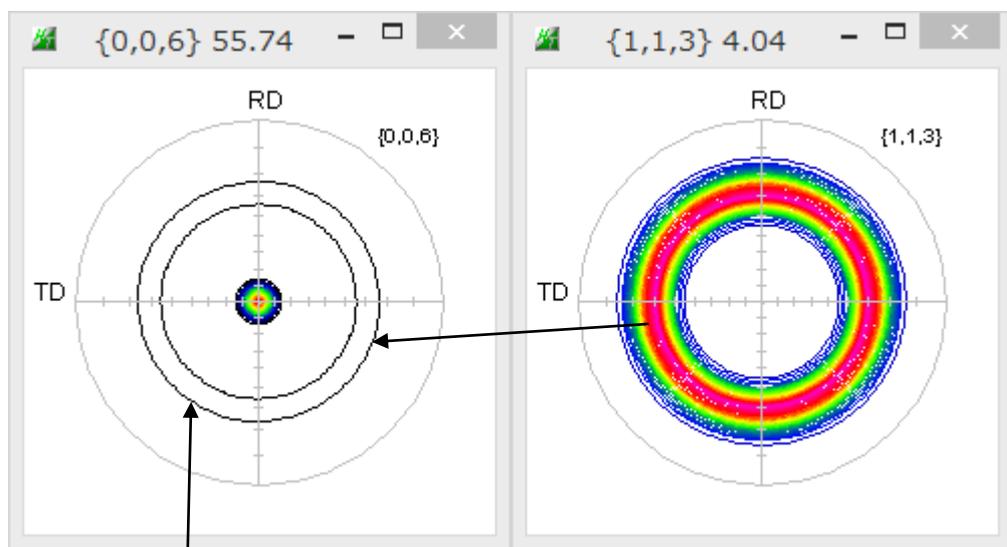
このような場合、隣の極点図を削除する機能が ODFPoleFigure2 に組み込まれているが、極点処理結果ファイル (TXT2) から隣の極点図を削除出来るようにした。

ODFPoleFigure2 ソフトウェアで各種補正を行った後、重なり補正を行います。

Al₂O₃ プロファイル



極点図の予想 (2つの極点図を測定し、極点処理を行う)



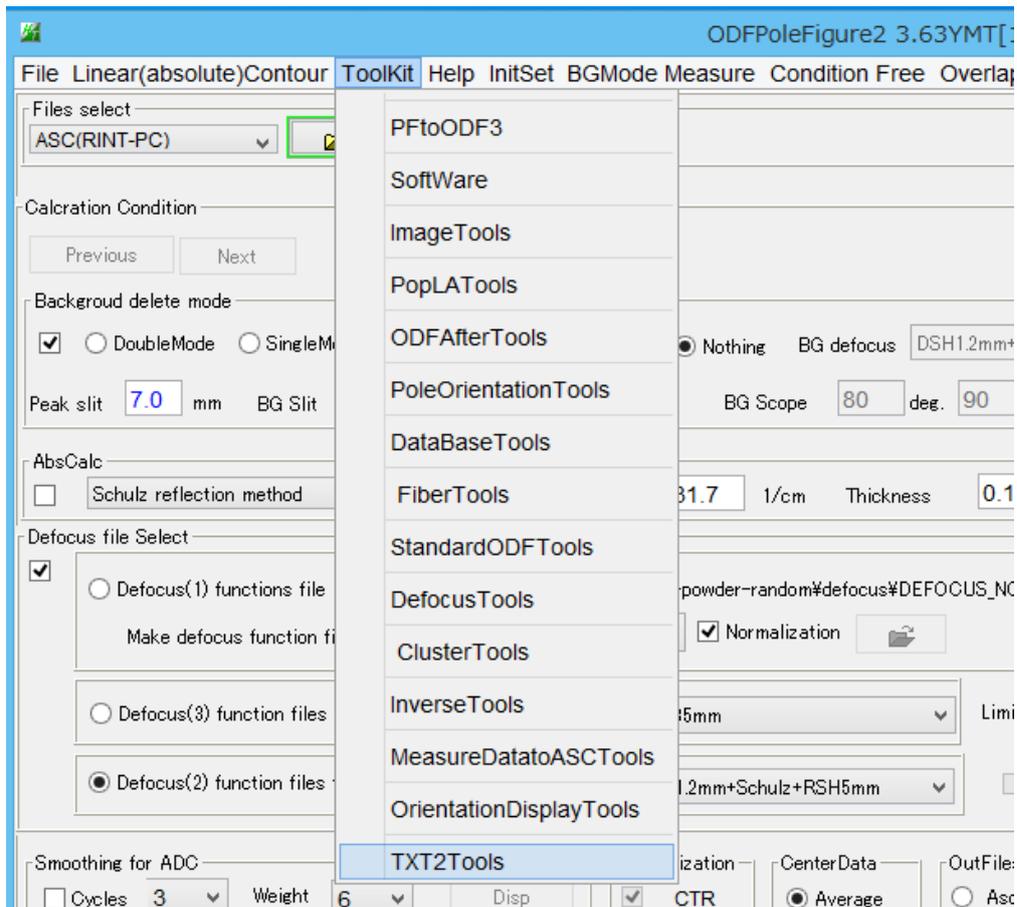
{113}極点図が畳み込まれる

この{006}極点図から畳み込まれた{113}極点図を削除する。

ソフトウェアの起動

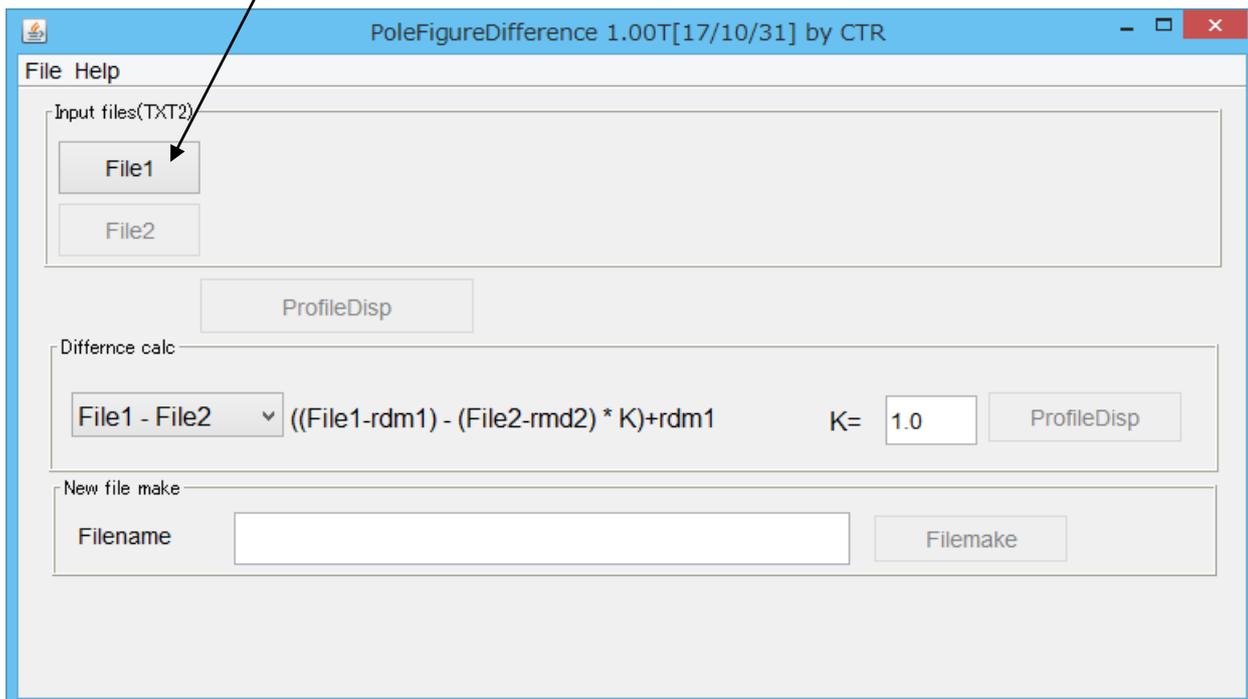
C:\¥CTR¥bin¥PoleFigureDiffernce.jar の直接起動

ODFPoleFigure2 (Ver3.63 以降) の ToolKit->TXT2Tools から起動

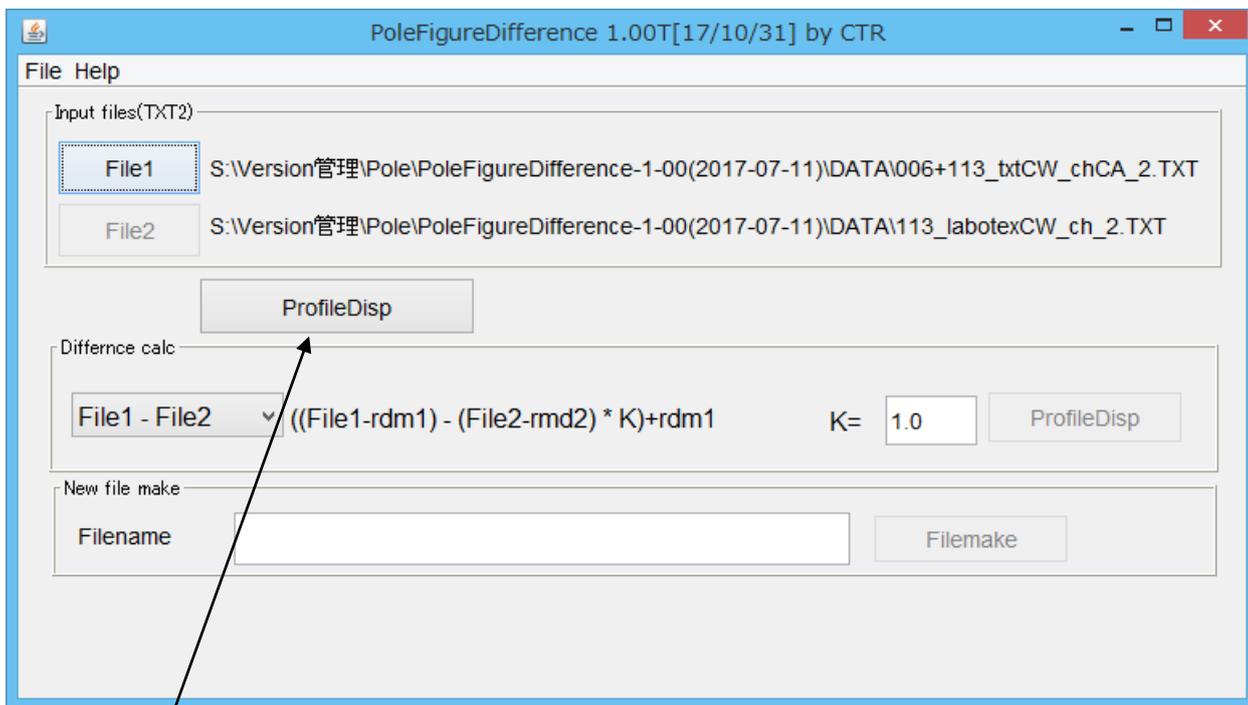


ソフトウェアの使い方

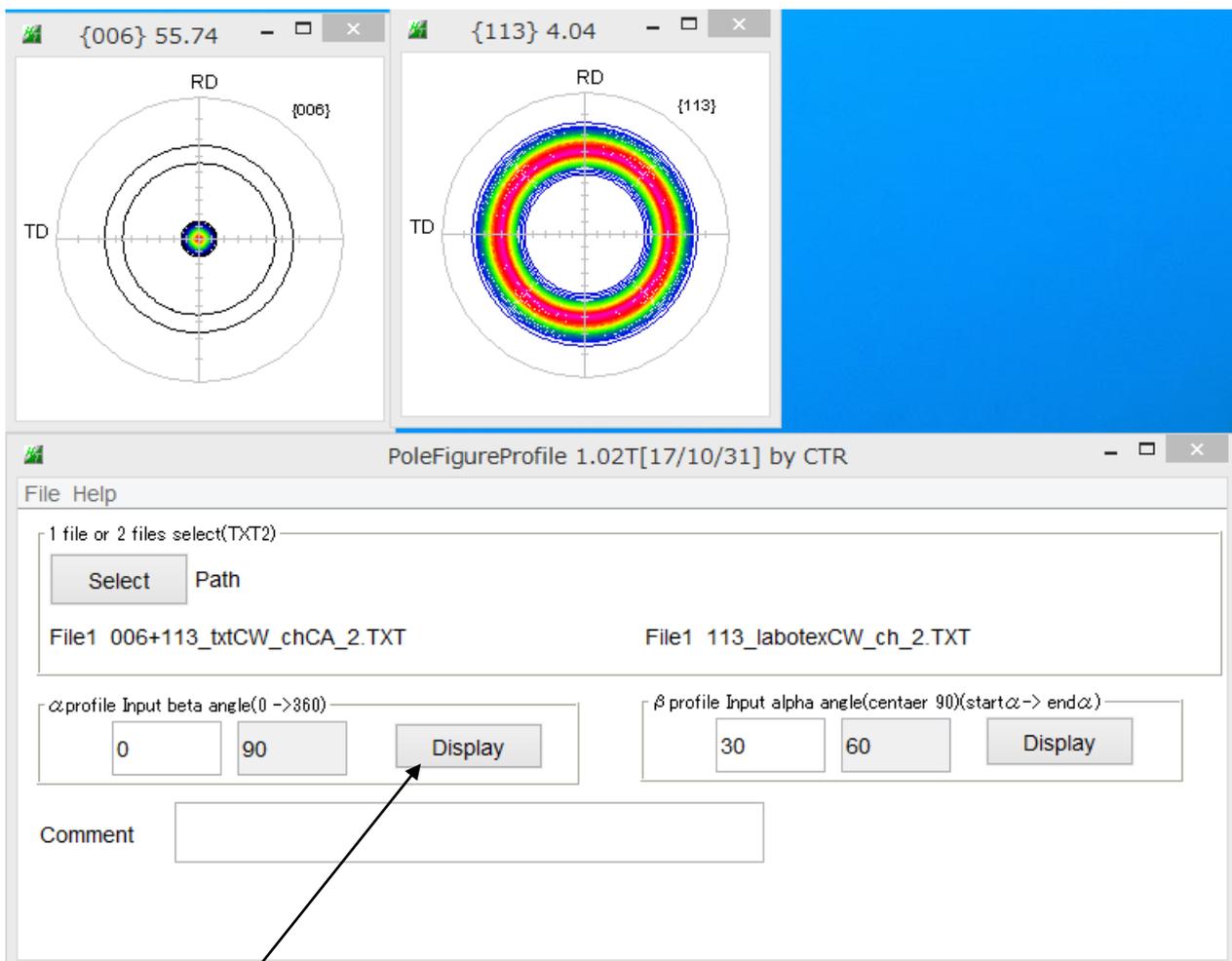
TXT2 を 2 つ同時に選択



データ読み込み

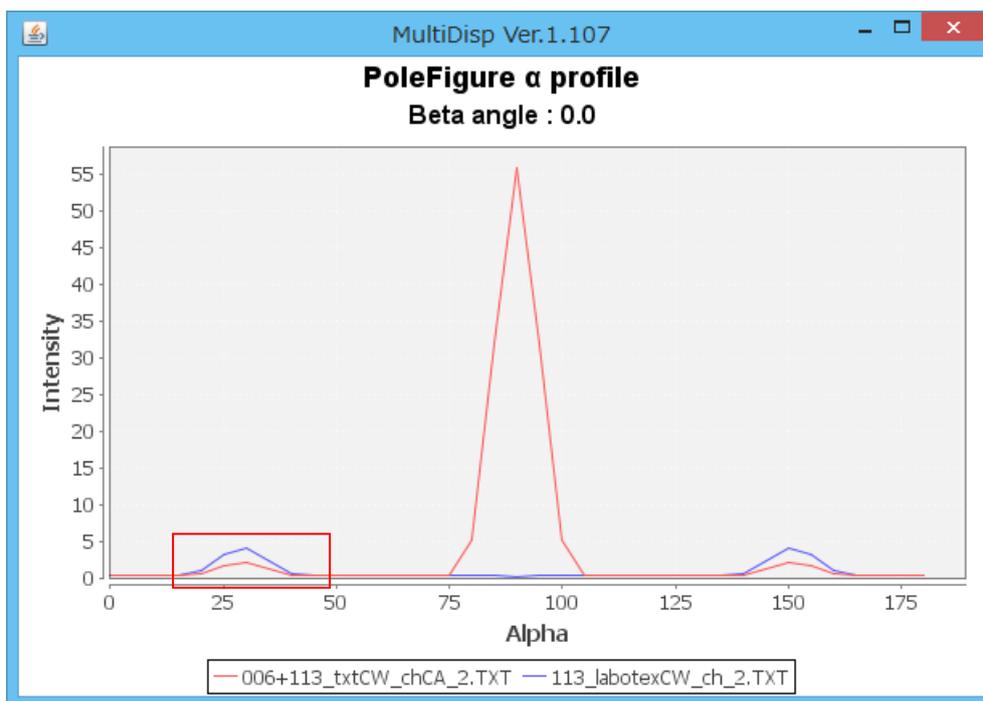


プロフィール確認

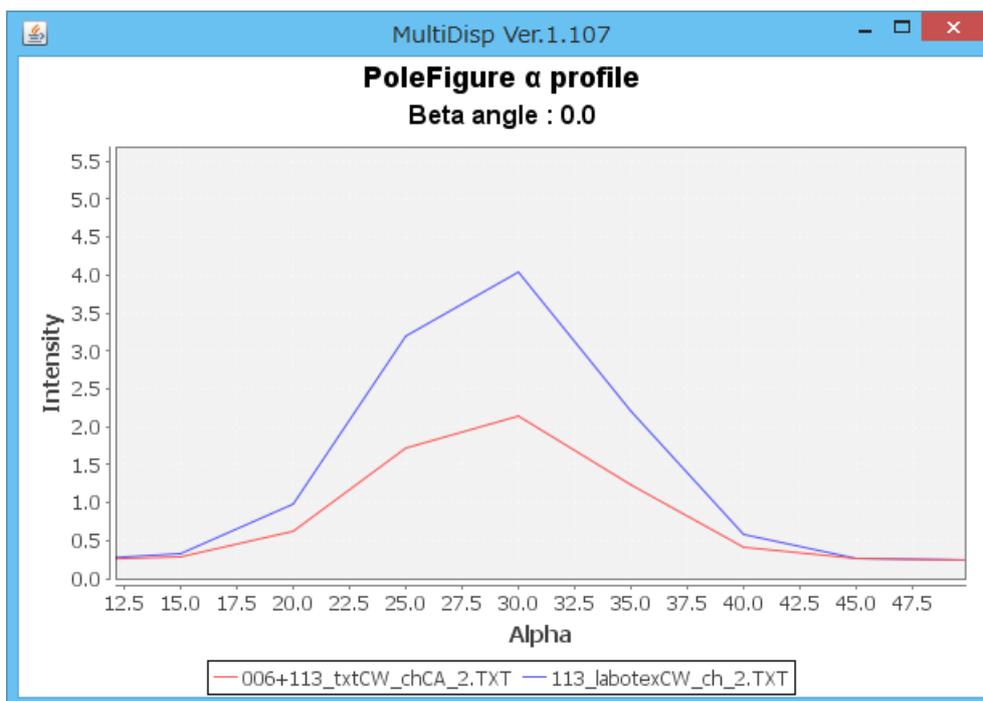


α プロファイルの確認

α プロファイル



拡大すると、50%の畳み込みが発生している



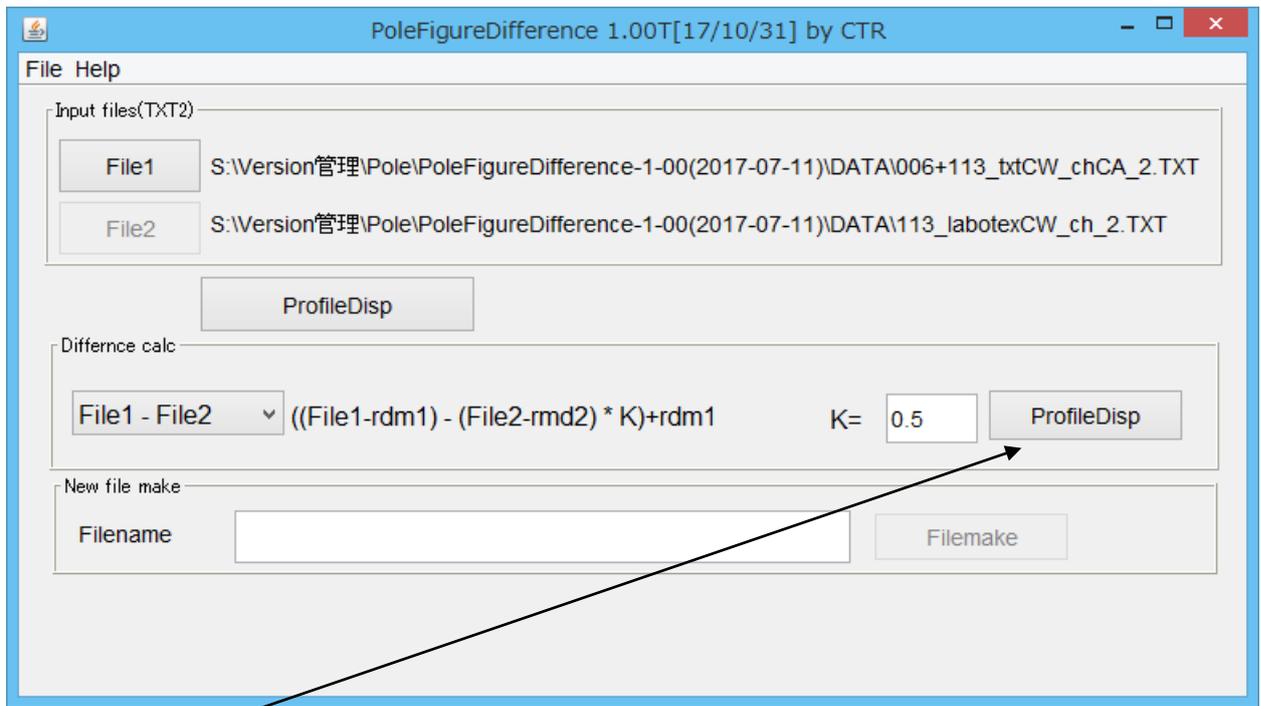
50%を削除する。

Difference calc

File1 - File2 $((\text{File1-rdm1}) - (\text{File2-rdm2}) * K) + \text{rdm1}$ K= 0.5 ProfileDisp

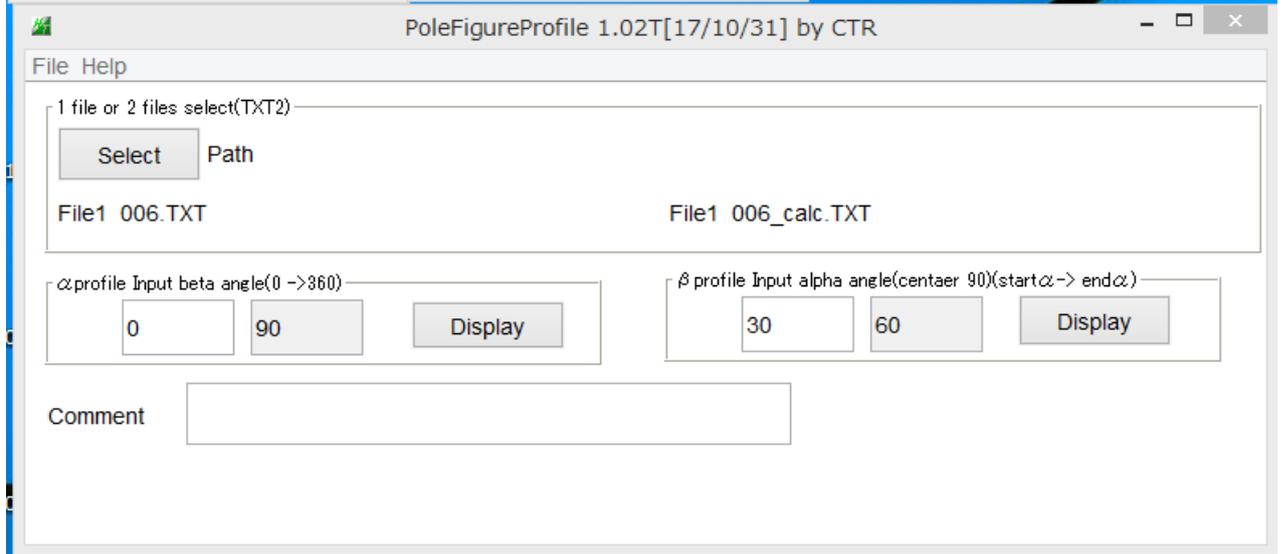
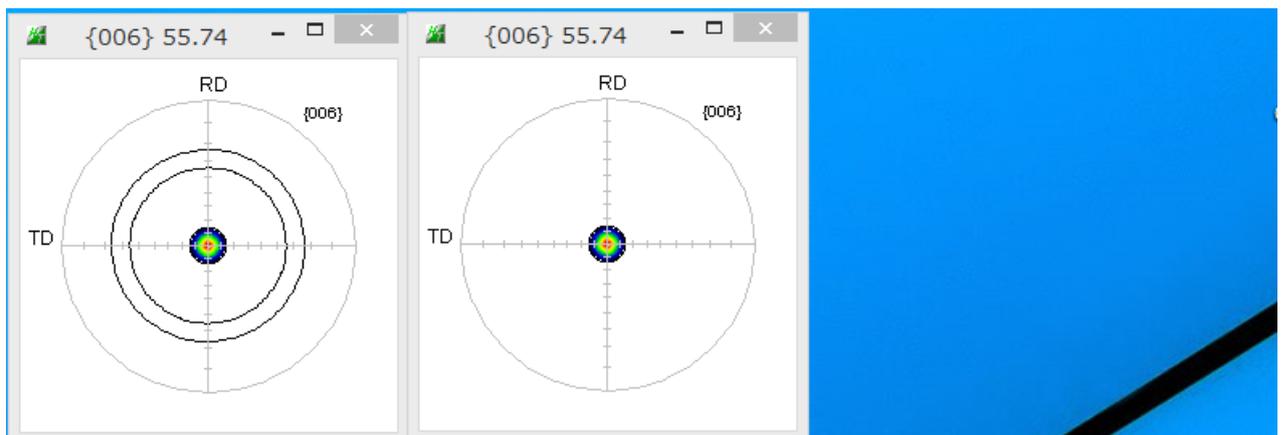
双方の random レベルを差し引いて削除を行い、差し引いた random レベルを加算する

削除

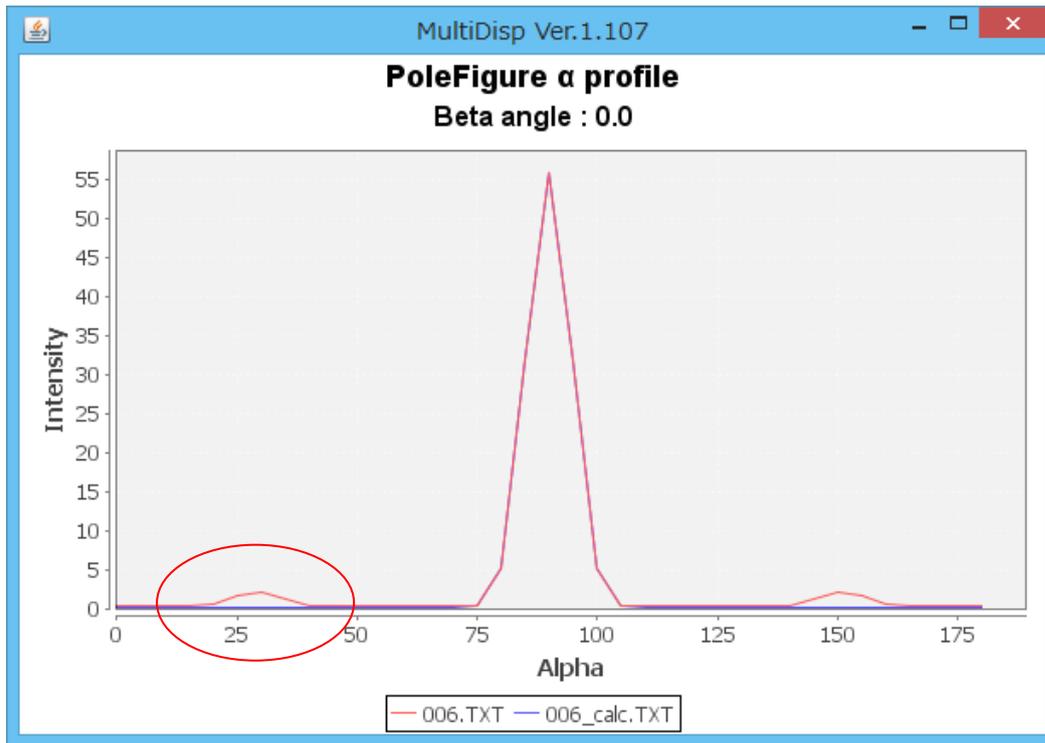


ProfileDisp

畳み込み極点図 ——> {113}が削除された{006}極点図



Display で α プロファイルを確認



削除が確認出来たら、結果をファイル出力する。

New file make

Filename

New file make

Filename

S:\Version管理\Pole\PoleFigureDifference-1-00(2017-07-11)\DATA\006_calc.TXT filemake succe...